

企画・情報政策グループ

1. 第五次大阪狭山市総合計画中間見直し等事業

令和 12 年度を目標年度とした第五次大阪狭山市総合計画について、令和 8 年度に中間年度を迎えること、また、第 2 期大阪狭山市総合戦略の計画期間の最終年度が令和 7 年度であることから、これまでの施策の進捗状況や本市を取り巻く情勢等の変化、市民意識調査の結果等を踏まえ、第五次総合計画の中間見直し及び第 3 期総合戦略の策定に向け、策定委員会等において庁内での検討を行い、第五次総合計画中間見直し等の素案を作成しました。

また、令和 7 年 2 月 25 日には、総合計画・総合戦略審議会に対し、第五次総合計画の見直し等について諮問しました。

2. 広域連携の推進

平成 24 年 1 月から南河内 3 市 2 町 1 村（大阪狭山市、富田林市、河内長野市、太子町、河南町、千早赤阪村）において、人口減少や少子高齢化への対応、効率的・効果的な行財政運営といった各団体の共通課題解決に加え、地域の成長と発展の観点から、「万博への共同催事参加」や「文化ホールの共同利用」について調査・研究を行いました。

3. まちの活性化推進事業

令和 4 年 2 月に策定した「狭山ニュータウン地区再生推進計画」において掲げる 4 つのシンボルプロジェクト等、狭山ニュータウン地区の再生・活性化に向けた施策の推進に努めました。また、各種の取組みの進捗等については、市民、識見を有する者、関係団体を代表する者等 17 名で構成する大阪狭山市狭山ニュータウン地区再生連絡協議会に報告し、意見をいただきました。

4. 大阪・関西万博事業

大阪・関西万博に向け、各種イベントにおける大阪・関西万博公式キャラクター「ミャクミャク」の活用や万博ブースの設置をはじめ、庁舎への懸垂幕や横断幕の設置等により機運醸成を行いました。

大阪府と府内自治体が連携して実施する自治体参加催事「大阪ウィーク～春・夏・秋～」に出展するため、大阪狭山市 2025 年大阪・関西万博自治体参加催事等推進本部を立ち上げ、歴史文化遺産の展示や市民パフォーマンスステージ、市民アート展示など、本市の出展内容について意見交換を行いました。

また、大阪・関西万博が、未来を担う子どもたちにとって未来社会の革新的な技術やサービスを直に体験できる機会となるよう、大阪府と連携し、市内に居住する 4 歳から 17 歳までの子どもたちを対象に、大阪・関西万博の入場チケットを申請に基づき無料配付しました。

5. 電子計算組織の管理運営

電子計算組織の効率的利用、システムの安定稼働や情報保護など適正な管理に努めました。

(1) 住民情報システム

マイナンバー利用事務系において、住民情報に係るパッケージシステムを活用し、住民記録をはじめとする各種業務を効率的、効果的に実施しました。

令和 7 年度の自治体情報システムの標準化対応に向けて Fit&Gap 分析やデータクレンジングを実施しました。

(2) 庁内情報システム

LGWAN 接続系において、財務会計システムや文書管理システム、グループウェア等を活用し、行政事務の効率化、簡素化を推進しました。

グループウェア及び庶務管理システムを一体化したシステムに更新することで一層の業務効率化を推進しました。

(3) 統合情報システム基盤

マイナンバー利用事務系・LGWAN 接続系・インターネット接続系の三層ネットワークのサーバー機器や利用者端末等のハードウェアを統合した環境及びそれぞれのネットワーク内で運用する各システムの利用環境を統合情報システム基盤として整備しました。

(4) 庁内ネットワーク

庁内全体のネットワークについて、統一かつ安全性の高いシステムのもとで管理運用を行いました。

(5) 電子計算組織の構成

令和 6 年度の電子計算組織の構成は、次のとおりです。

■ 住民情報システム

区 分		数 量	備 考
サーバー	住民情報システム DB サーバー	1 台	電算室
	住民情報システム用サーバー	1 台	電算室
	滞納管理システム用サーバー	1 台	電算室
	中間サーバーコネクタ用サーバー	1 台	電算室
	無停電装置	4 台	電算室
	計	8 台	
クライアント	パソコン（デスクトップ）	12 台	庁内各グループ
	パソコン（ノートブック）	4 台	庁内各グループ
	中間サーバーコネクタ用端末	2 台	電算室
	計	18 台	
プリンター	連続紙ページプリンター	1 台	電算室
	ドットインパクトプリンター	1 台	税務グループ
	計	2 台	
その他	指ハイブリッド認証装置	18 台	庁内各グループ
	スキャナ	3 台	市民窓口グループ ニュータウン連絡所
	計	21 台	

■統合情報システム基盤

区 分		数 量	備 考
サーバー	サーバー用仮想サーバー基盤	5 台	電算室
	仮想端末用仮想サーバー基盤	6 台	電算室
	インターネット接続系用仮想サーバー基盤	5 台	電算室
	管理用サーバー等	4 台	電算室
	ファイアウォール	6 台	電算室
	無停電装置	10 台	電算室
	計	36 台	
クライアント	パソコン（ノートブック）	440 台	庁内各グループ
	パソコン（管理用・ノートブック）	5 台	企画・情報政策グループ
	パソコン（管理用・デスクトップ）	11 台	企画・情報政策グループ 電算室
	計	456 台	
プリンター	モノクロレーザープリンター	87 台	庁内各グループ
	カラーレーザープリンター	1 台	人事グループ
	モノクロ高速レーザープリンター	2 台	出納室 電算室
	複合機	2 台	健康推進グループ 広報広聴・人権啓発グループ
	計	92 台	

■庁内ネットワーク

区 分		数 量	備 考
ネットワーク	フロアスイッチ	48 台	庁内各グループ
	無線 AP	45 台	庁内各グループ
	サーバスイッチ類	11 台	電算室
	認証サーバー	2 台	電算室
	ファイアウォール	2 台	電算室
	VPN ルータ	15 台	電算室、出先 14 拠点
	光ファイバ	8 芯	本庁⇄出先 2 拠点間
	VPN 回線	15 本	本庁⇄出先 14 拠点間

6. 総合行政ネットワーク管理事業

地方公共団体相互間のコミュニケーションの円滑化、情報の共有による高度利用を図るための基盤として、総合行政ネットワークの管理を行いました。

7. 情報セキュリティの確保

(1) 不正アクセスの防止

インターネット接続による不正アクセス防止のため、ファイアウォールをはじめとするサーバー類の維持・管理を行いました。さらに、情報システム強靱性向上事業によるインターネット接続環境の分離や、大阪版自治体情報セキュリティクラウドへの参加などにより、一層のセキュリティ強化に努めました。

また、各無線クライアントのユーザ認証を行い、無線 LAN のセキュリティの維持に努めました。

(2) ウィルス対策

コンピュータウィルスの脅威に対抗するため、ウィルス対策サーバーのメンテナンス及びパソコンに搭載しているウィルス対策ソフトの日常更新作業を行いました。

8. 業務効率化システムの運用

業務効率化を図るシステムの運用を行いました。

(1) RPA の運用

RPA (Robotic Process Automation) を効果的に活用するため、全庁的に使用できるロボットの作成を推進しました。

(2) チャットツールの運用

チャットツールを使用し、日常業務のコミュニケーションの効率化をはじめ、出張時や災害発生時のコミュニケーションの円滑化等を図りました。

(3) 電子申請システムの運用

電子申請システムを使用し、庁内事務の電子化を図りました。

(4) AI 議事録作成支援システムの運用

AI 議事録作成支援システムを使用し、議事録作成業務の効率化を図りました。

9. 行政手続オンライン化の推進

総務省が示す「自治体 DX 推進計画」及び「大阪狭山市 DX 推進方針」に基づき、電子申請システム及びマイナンバーカードを用いたびったりサービスを活用することで、行政手続のオンライン化を推進しました。また、それらを「大阪狭山市オンライン手続き一覧」として集約、公開することで、オンライン手続きの利用促進を図りました。

秘書グループ

1. 大阪狭山市功労者・善行者表彰

(1) 大阪狭山市表彰審査委員会

大阪狭山市功労者・善行者表彰にあたり、被表彰候補者の厳正かつ公平な審査を行うため、9月30日に大阪狭山市表彰審査委員会へ諮問し、同日に答申を得ました。

(2) 大阪狭山市功労者・善行者表彰式

11月3日の文化の日に、SAYAKA ホールにおいて大阪狭山市功労者・善行者表彰式を行い、市民、団体及び本市に縁故の深いもので、市政または公益に関し功労のあった人に表彰状を贈呈しました。

・ 功労者表彰	自治功労の部	11 人
	公安防災功労の部	2 人
・ 善行者表彰		3 人と 1 団体

人事グループ

1. 級別職員数及び平均給料

令和6年4月1日現在

区 分	行 政 職 給 料 表								計
	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級	8 級	
職 員 数 (人)	27	28	61	94	62	51	11	15	349
平均給料 (円)	207,070	225,061	252,187	318,163	352,856	396,343	428,464	451,987	317,383

2. 予算科目別職員給与費

(1) 一般会計

(単位：千円)

科 目	科目別 職員数 (人)	給 料	扶 養 手 当	管 理 職 手 当	地 域 手 当	期 末 ・ 勤 勉 手 当	住 居 手 当	通 勤 手 当	時 間 外 勤 務 手 当	特 殊 勤 務 手 当	その他	計
議 会 費	4	17,539	300	1,431	2,891	8,958	554	167	0	0	0	31,840
総 務 費	116	482,220	12,278	27,886	77,435	228,923	9,521	10,706	31,064	0	153,723	1,033,756
民 生 費	75	302,319	4,650	10,542	47,627	138,875	5,412	6,485	0	254	0	516,164
衛 生 費	30	124,657	3,542	4,692	19,934	59,896	1,420	1,868	0	1,049	0	217,058
農 林 水 産 業 費	6	23,804	540	1,275	3,842	11,015	336	474	0	0	0	41,286
商 工 費	3	12,849	420	714	2,097	6,478	276	157	0	0	0	22,991
土 木 費	27	98,468	2,809	3,348	15,694	47,292	2,354	2,054	0	39	0	172,058
消 防 費	3	12,439	438	561	2,016	6,184	0	50	0	0	0	21,688
教 育 費	61	262,048	6,784	14,790	42,257	126,675	2,867	4,104	27,892	0	0	487,417
計	325	1,336,343	31,761	65,239	213,793	634,296	22,740	26,065	58,956	1,342	153,723	2,544,258

(2) 国民健康保険特別会計

(単位：千円)

科 目	科目別 職員数 (人)	給 料	扶 養 手 当	管 理 職 手 当	地 域 手 当	期 末 ・ 勤 勉 手 当	住 居 手 当	通 勤 手 当	時 間 外 勤 務 手 当	特 殊 勤 務 手 当	その他	計
総 務 費	8	29,090	696	1,743	4,729	13,917	636	847	725	0	0	52,383

(3) 介護保険特別会計

(単位：千円)

科 目	科目別 職員数 (人)	給 料	扶 養 手 当	管 理 職 手 当	地 域 手 当	期 末 ・ 勤 勉 手 当	住 居 手 当	通 勤 手 当	時 間 外 勤 務 手 当	特 殊 勤 務 手 当	その他	計
総 務 費	10	36,896	972	714	5,787	17,765	1,008	1,134	2,530	0	0	66,806

(4) 後期高齢者特別会計

(単位：千円)

科 目	科目別 職員数 (人)	給 料	扶 養 手 当	管 理 職 手 当	地 域 手 当	期 末 ・ 勤 勉 手 当	住 居 手 当	通 勤 手 当	時 間 外 勤 務 手 当	特 殊 勤 務 手 当	その他	計
総 務 費	1	3,344	0	0	502	1,438	84	0	242	0	0	5,610

※ 科目別職員数には特別職を含み、短時間勤務職員及び会計年度任用職員を除きます。

3. 職種別年齢別職員数

令和 6 年 4 月 1 日現在 (単位：人)

区 分	総 数	20 歳 未 満	20～ 25 歳	26～ 31 歳	32～ 37 歳	38～ 43 歳	44～ 49 歳	50～ 55 歳	56～ 59 歳	60 歳 以 上	平 均 年 齢
総 数	349	0	26	66	69	45	19	75	31	18	41 歳 8 月
一般行政職	254	0	17	53	57	35	7	48	24	13	41 歳 0 月
税 務 職	21	0	1	6	8	1	0	3	1	1	38 歳 7 月
保 健 師	12	0	2	1	0	1	3	4	1	0	44 歳 1 月
福 祉 職	17	0	3	3	1	2	2	5	1	0	41 歳 3 月
技能労務職	13	0	0	0	0	0	2	7	2	2	53 歳 10 月
教 育 職	32	0	3	3	3	6	5	8	2	2	43 歳 5 月

4. 令和 6 年度中採用・退職者数

(単位：人)

区 分	採 用 者 数			退 職 者 数		
	男	女	計	男	女	計
総 数	7	9	16	10	10	20
一般行政職	5	3	8	5	5	10
税 務 職	0	0	0	1	1	2
保 健 師	0	2	2	0	1	1
福 祉 職	0	1	1	0	2	2
技能労務職	0	0	0	2	0	2
教 育 職	2	3	5	2	1	3

５．職員研修の状況（令和６年４月１日～令和７年３月３１日）

職員の能力開発や資質の向上のための職員研修を実施しました。実施状況は、次のとおりです。

区分	研修名	対象者	内容	受講者数 (延べ)(人)
内部研修 (階層別)	新規採用職員研修	新規採用職員	新規採用職員を対象に「人権問題」や「大阪狭山市の歴史的沿革」をはじめ、本市行政に関する基本的な知識の習得を図る。（計４件）	18
	行政実務基礎研修	新規採用職員	契約・法制執務等、行政事務に必要な基本知識について学び、日常業務で実践していく。（計３件）	29
	フロアマネージャー体験研修（事前・実践）	新規採用職員	挨拶や周囲への気配りの大切さを認識し、自らコミュニケーションをとって積極的に行動するよう意識づける。（計２件）	10
	接遇力向上研修	主事級の職員	職員の接遇能力や窓口対応能力の向上を図る。	50
	OJT指導者養成研修	主任級の職員	後輩職員に対して助言・支援するとともに、次のステップに備え、OJTの直接の推進者となり、実践的な指導育成を行うための能力向上を図る。	54
	マニュアル作成・脱属人化研修	主任級職員	職員がそれぞれに持っている実務に係る知識・技能を「組織の資産」として認識し、マニュアル作成等を通して属人的でない組織運営を行うためのスキルの習得を図る。	48
	地方公務員法研修	主査級の職員	地方公務員制度の仕組みについて理解し、地方公務員法やその関連法の解釈と運用についての知識を習得する。	67
	地方自治法研修	主査級の職員	地方自治の枠組みを基礎付けている理念や制度を習得し、地方自治制度の全体像について認識を深める。	58
	部下指導（コーチング・メンター）研修	主幹級以上の職員	後輩・部下と良好なコミュニケーションをとり、主体的な行動を引き出す指導・支援を行っていくための能力向上を図る。	57
	議会答弁対応力向上研修	主幹・課長補佐級職員	議会对応のポイントを学ぶとともに、演習にて模擬答弁を行う。	41

区分	研修名	対象者	内 容	受講者数 (延べ)(人)
内部研修 (階層別)	組織のタイムマネジメント研修	主幹・課長補佐級職員	業務管理や業務計画策定の方法を学ぶことで、チームとして限られた時間で多くの業務をこなしていくためのスキルの習得を図る。	45
	政策形成力・判断力向上研修	主幹・課長補佐級職員	組織目標に基づく施策を具体的かつ効率的な実行策に展開し、企画立案するための能力向上を図る。	48
	労務管理研修	課長・次長級の職員	管理職に求められる職員の労務管理に係る基礎知識を習得するとともに、育児休業の承認の請求に関する意識啓発を行う。	51
	組織マネジメント研修	課長・次長・部長級職員	組織目標の達成に向け、組織理念と職員の意思を結び付け、自律的に業務遂行に取り組む組織づくりを行うためのスキルの習得を図る。	48
内部研修 (課題別)	普通救命講習	新規採用職員等	病院到達前の心肺停止患者の救命率向上を図るため、心肺蘇生法等を習得し、人命救護ができるようにする。	15
	ハラスメント防止研修	主幹級以上の職員	ハラスメントについての正しい理解を促すとともに、ハラスメントに関する相談を受けるときの心構え等を学ぶ。	122
	人事評価（1次・2次評価者）研修	各所属の1次・2次評価者（課長・次長・部長級の職員）	人事評価制度の趣旨や目的を理解し、具体的な事例をもとに評価演習を行う等、1次評価者・2次評価者として人事評価の実践力を養う。	42
	公務員倫理（コンプライアンス）研修	課長・次長・部長級職員	「市が行う業務は市民との信頼関係のもとに成り立っている」という原点に立ち返り、公務員倫理の意識高揚を図る。	61
	JIAM 研修成果発表会	全職員	全国市町村国際文化研修所（JIAM）での研修成果の発表を行う。	7
	安全運転講習会	全職員	公用車利用時における安全運転意識の高揚を図る。	40
	人権研修「多文化共生のまちづくり～外国人の人権～」	全職員	外国人の人権について学び、行政として対応すべき課題等を把握し、多文化共生のまちづくりを検討するきっかけとする。	281

区分	研修名	対象者	内容	受講者数 (延べ)(人)
内部研修 (課題別)	人権研修 「マイクロアグレッション」	全職員	身近な事例から無意識のうちに傷つけるような行動等（マイクロアグレッション）について学び、マイクロアグレッションへの対応について学ぶ。	26
			小計 28 件	1,218
広域共同研修	中部都市職員研修協議会研修	階層別、または指定職員	・新規採用職員研修（前期・後期） ・採用面接官研修 ・新任課長研修 ・新任係長研修 ・民法演習研修 ・行政法演習研修 ・工事監理(土木)研修 ・ハラスメント相談員研修 ・地方公務員法指導者養成研修 （計 10 件）	49
			小計 10 件	49
派遣研修	おおさか市町村職員研修研究センター（マッセ OSAKA）	全職員	職員の能力向上を図るため、マッセ OSAKA 主催の各種研修会やセミナー等に参加（計 32 件）	43
	人権関係研修	各部署推せん	部落問題・人権問題に関する総合的・専門的知識の習得と考え方や姿勢を再認識するため、部落解放・人権大学講座、部落解放・人権夏期講座などに参加（計 5 件）	7
	市町村職員中央研修所研修	指定職員	持続可能な地域づくりと環境保全	1
	全国市町村国際文化研修所研修	指定職員	・次世代を担う若手職員育成研修 ・自治体職員のための行動経済学～ナッジを中心として～ に参加（計 2 件）	2
	その他の派遣研修	各部署推せん	安全衛生関係研修会、技術職員研修などに参加（計 8 件）	9
			小計 48 件	62
合計 86 件				1,329

公民連携・協働推進グループ

○コミュニティ活動推進関係

1. 大阪狭山市自治会地区会連合会助成金

会員相互の連絡及び親睦を図り、地域コミュニティの振興のための調査・研究及び研修会の実施等の事業を行う大阪狭山市自治会地区会連合会に対し、補助金を交付しました。

助成団体名	加入地区数(地区)	交付金額(円)
大阪狭山市自治会地区会連合会	47	470,000

2. 地域力活性化支援事業補助金

地域の課題を解決するための活動やコミュニティ活動、防犯活動など地域住民が自主的に取り組む活動を市が側面的に支援することで、地域における活力の活性化を図り、市民との協働による安全なまちづくりの推進につなげるため、自治会等に対し補助金を交付しました。

・交付内訳(申請団体数:38、実績団体数:37)

補助対象事業名	事業数(件)	交付金額(円)
地域活性化事業	18	460,194
防犯活動事業	17	333,413
防犯資機材整備事業	10	300,091
地域イベント活動事業	26	2,140,345
集会施設小規模修繕等事業	21	879,756
合 計	92	4,113,799

3. まちづくり円卓会議事業

(1) 運営費補助金

各中学校区まちづくり円卓会議に運営費補助金を交付しました。

・交付内訳

補助金交付団体	補助金額(円)
特定非営利活動法人南中学校区円卓会議	39,776
第三中学校区まちづくり円卓会議	149,757
狭山中学校区まちづくり円卓会議	156,761

(2) 提案事業

第三中学校区まちづくり円卓会議から提案のあった 2 事業及び狭山中学校区まちづくり円卓会議から提案のあった 4 事業の予算措置を行うとともに、これらの事業実施の支援を行いました。

校区	事業名	決算額 (円)	内 容
第三 中学校	円卓会議推進 事業	1,527,455	地域コミュニティ誌の発行や、グラウンドゴルフ大会、花いっぱい運動や 15 周年記念事業を実施。
	夏まつり事業	1,293,738	地域住民によるまちづくりを進め、住民同士が気軽に交流できるように、夏まつりを実施。
狭山 中学校	円卓会議推進 事業	1,451,016	地域コミュニティ誌の発行や市民研修会を実施。
	地域文化祭事業	1,217,170	地域文化の向上・発展を図ることを目的とした文化祭を実施。
	さやりんピック事業	1,056,147	防災等の要素も取り入れた競技やレクリエーションを楽しみながらコミュニティづくりを深める事業を実施。（担当：生涯学習グループ）
	地域美化清掃事業	0	幹線水路のクリーンアップ事業。 ※令和 6 年度は実施なし （担当：下水道・水路グループ）

特定非営利活動法人南中学校区円卓会議には、大阪狭山市まちづくり円卓会議条例及び同条例施行規則に基づき、交付金として 4,382,596 円を交付しました。

事業名	内容
円卓会議推進事業	地域コミュニティ誌の発行等
コミュニティカフェ事業	サロンみらいの運営等
防犯・防災事業	防犯パトロール、HUG 訓練等
環境事業	花いっぱい運動等
地域コミュニティ交流事業	陶器山元気ウォーキング等
地域コミュニティ醸成事業	元気クラブの開催等
子ども育成事業	夏休み親子工作教室等

4. 職員地域交流スタートアップ事業

地域と協働してまちづくりを推進していくため、地域の活動がわかる職員づくりを目的に、地域における課題や取組内容、その意義などについて理解するための研修を実施しました。

令和 6 年度は体験型の研修を実施し、「狭山ニュータウンの未来を育むプロジェクト推進会議」の活動に職員 5 人が参加しました。

○市民公益活動促進事業関係

1. 市民公益活動促進委員会

委員会は、市民公益活動の促進に必要な事項を調査審議する市長の諮問機関であり、現委員は、令和6年8月に委嘱し、構成は市民3人、事業者1人、学識経験者2人、その他2人、計8人で、任期は令和8年8月26日までです。

委員会を6回開催し、令和6年度市民公益活動促進補助金交付申請事業の審査結果及び完了した補助事業に関する意見のとりまとめ、令和7年度市民公益活動促進補助金申請事業の募集等について審議しました。

また、委員会で設置した専門部会の評価部会において、令和6年度市民公益活動促進補助金交付申請に係る審査、補助対象事業の期中評価などを行いました。

2. 市民公益活動促進補助金

大阪狭山市市民公益活動促進条例の基本理念に基づき、市民公益活動を促進するために公募制で実施する補助金制度です。令和6年4月21日に実施した公開プレゼンテーションの審査を経て、5団体7事業に補助金を決定し、実績報告のあった4団体6事業に補助金の交付を確定しました。

「自立促進部門」

【テーマ型】

番号	事業名	団体名	事業の概要	補助額(円)
1	大阪狭山防災キッズレンジャー・ママレンジャー	大阪狭山防災レンジャー	災害への興味関心が低い世代に働きかけ、10代～学生のキッズチームや子育て中のママチームを発足し、継続した防災・減災活動の実施をする。年間を通して地域・災害・減災について自主的に学ぶ機会づくりやSNSやICTを用い、全世代が繋がりをもち、共助を身近なものとして捉えられる機会づくりのほか、防災センターや地域の防災拠点となる場などを巡り地域について学ぶことで、自らの役割を考え、行動できる人材の育成を行う。	115,000
2	ひきこもりの若者たちが「EM廃油石鹸」で未来との循環を作る	特定非営利活動法人南大阪サポートネット	ひきこもりの若者たちと支援者が、廃油を集めてEM廃油石鹸づくり、その石鹸を使ってもらうことを通して、社会との繋がりをもち、自分にも社会にも優しい循環のある取組みとして社会に貢献することで、当事者が望む自分らしい生き方の実現をめざす。	250,000
3	こどもちっく天国	大人の本氣見せたる会	自分たちで考え作った商品を売買する、子どもだけのマルシェを実施する。子どもの主体性にフォーカスし、どんな環境や立場の子どもも自分で考えや感情を安心して表現できる場所づくりをし、生きるチカラを育む。	165,000
計	3事業	3団体	—	530,000

【提案型】

番号	事業名	団体名	事業の概要	補助額 (円)
1	ひきこもり、不登校に関する支援マップ作成	特定非営利活動法人 南大阪サポートネット	ひきこもり当事者は支援窓口や相談に行けない状況がほとんどであり、当事者の親も相談場所を探すのに苦労するケースが多い中、本事業でひきこもり・不登校に関する支援マップを作成することで、近隣他市にわたり負担なく情報に出会えるようにする。	261,000
2	“歌の力”で高齢者の孤立、孤独をサポートする「高齢者憩いの歌声広場」	NPO 団体 グローバル・スクール	高齢者の孤立・孤独を防ぐことを目的として、歌の力で元気になれるように、大きなスクリーンに映像と歌詞を映しながら、ピアノの生伴奏で昭和と平成に流行した歌謡曲などを楽しく全員で合唱する事業を実施する。	280,000
3	でっかい背中フェスタ	大人の本気見せたる会	大人が本気で取り組む、大人が主役の運動会を開催する。初対面の人と一致団結し優勝を目指すことにより仲間意識が芽生え、地域の活性化につなげる。	74,000
計	3 事業	3 団体	—	615,000

3. 市民活動支援センター事業

市民との協働によるまちづくりの推進を図る拠点である市民活動支援センターの運営を、公益財団法人大阪狭山市文化振興事業団が行いました。（委託料：31,367,000 円）

・主な事業内容

まちづくり大学事業	まちづくりにかかる人材の発掘と育成を図るため実施。 (第 20 期 受講者 15 人)
相談事業	団体立ち上げ、NPO 法人申請、助成金申請など市民公益活動に関する相談事業を実施。
情報提供と収集・発信事業	ホームページやメールマガジン、情報誌ニューズレターにより、市民公益活動に関する情報を市民・活動団体に提供。
マッチング事業	市民・活動団体が必要とする人・物・資金・情報等を対象として、マッチング事業を実施。
市民活動支援（学びの広場）事業	市民公益活動を支援するため、ボランティア講座や団体交流会、市民活動支援セミナーを実施。
地域社会体験学習事業	学生が地域社会で活動するボランティア団体・市民の人たちの中に入る体験学習の受入れ。
わくわく市民活動・ボランティアフェスティバル	市内で活動する団体を対象に、団体の活動を市民に紹介し、団体同士のコラボレーションの可能性等を探ると同時に市民とのふれあいの機会をつくるために実施。市民活動支援センターのほか、社会福祉協議会、市立公民館、市との共催。
備品貸出等	・ワークステーションの設置運営（ミーティングスペース、ミーティングルーム、メールボックス、貸しロッカー、印刷機や複写機・紙折り機等） ・ウェブ会議や動画作成に活用できるパソコン・カメラ等の備品の貸出

4. 市民・市民公益活動団体との協働事業

市民やNPO、ボランティアグループなどの協働事業に関する調査を実施し、令和6年度事業として、市内から153事業の協働事業の報告がありました。

5. 狭山池まつり補助金

狭山池まつり実行委員会が「大阪狭山市民のシンボルである狭山池の再発見、水との共生」「広く地域住民が集い交流できる市民まつり」「わが町の歴史・文化の振興と共有」「青少年の健全育成・人づくり・まちづくり」「本市の市民活動と経済の活性化」を目的に実施した事業に補助金3,500,000円を交付しました。

(1) 狭山池まつり 2024

開催日 令和6年4月27日、28日

来場者数 約41,000人

(2) 通年事業（狭山池クリーンアクション）

第1回狭山池まつり開催後の平成14年6月から市民に広く呼びかけ、月1回以上、堤や河口の清掃・草刈などを継続して実施するとともに、平成16年度からは水質検査に取り組むなど、本市のシンボルである狭山池を、いつまでも美しいままに未来へ繋ぐための活動を行い、令和6年度まで通算296回の実施となりました。

6. 特定非営利活動法人の設立認証等事務

市内のみに事務所を設置する特定非営利活動法人に係る事務手続きを行いました。

市内の法人数	25
--------	----

7. まちの活性化推進事業

狭山ニュータウンの活性化を促進するため地域住民等が主体となって組織する「狭山ニュータウンの未来を育むプロジェクト推進会議」に補助金430,431円を交付しました。

・主な事業内容

(1) 未来を育むふれあいまつり

以下の日程等で開催を予定していましたが、台風の影響で中止となりました。

開催日 令和6年8月31日

会場 狭山ニュータウンファミリーロード

内容 飲食や遊びの模擬店

(2) 第4回狭山ニュータウン魅力発見フェスタ

開催日 令和6年10月26日

会場 南第一小学校

内容 狭山ニュータウン謎解きウォーキング&さやマルシェ

(3) 狭山ニュータウンの未来を育むプロジェクト 2025 ディスカッション

開催日 令和7年2月27日

会場 市立コミュニティセンター大会議室

内容 次年度に向けてアイデア出し、意見交換

○公民連携事業

行政が抱える課題解決、市民サービスの向上、地域の活性化を目的に、民間事業者等のノウハウ、アイデアを積極的に活用する事業です。令和６年度は１件の包括連携協定を締結しました。

事業者	協定締結日
イオン株式会社	令和６年 ５月 31 日

○文化振興関係

１．文化会館管理事業

優れた芸術の鑑賞や市民の文化活動の発表の場である大阪狭山市文化会館（SAYAKA ホール）の管理運営を、指定管理者である株式会社ケイミックスパブリックビジネスが行いました。

（指定管理料：131,613,292 円）

(1) 施設利用状況

利用率	利用率 (%)	利用件数 (件)	利用人数 (人)	施設使用料 (円)	備品使用料 (円)
大ホール	53.7	253	67,887	11,353,900	4,749,650
小ホール	63.4	312	34,364	4,691,800	3,231,900
コンベンション ホール	56.9	243	22,738	3,524,050	2,173,430
展示ホール	65.7	229	25,265	2,128,545	399,830
リハーサル室 1	96.8	591	12,259	2,846,050	264,850
リハーサル室 2	86.0	399	3,643	870,670	309,150
小会議室 1	89.6	433	3,723	632,050	11,100
小会議室 2	88.3	421	3,463	732,250	45,200
中会議室	50.5	176	1,988	582,970	36,450
大会議室 S	81.2	323	4,818	683,070	26,700
大会議室 L	62.5	212	7,061	1,449,150	395,050
和室	71.5	300	2,782	461,300	25,600
美術室	92.9	445	7,324	1,635,150	29,800
楽屋	—	962	4,124	1,512,490	0
合計 ※利用率は平均値	74.0	5,299	201,439	33,103,445	11,698,710

(2) 実施事業

事業の種別	概 要	事業数
鑑賞型事業	市民が国内外のプロによる質の高い芸術作品に触れる機会を提供する事業	23 事業
創造型事業	施設の機能を活かした文化会館独自の良質な音楽事業や舞台作品等の自主事業	3 事業
市民参画型事業	市民が舞台等で表現する機会を提供する事業 (「さやま芸術祭」等)	4 事業
教育普及型事業	市民が文化芸術のスキルアップを図る機会となる講座・セミナー等	2 事業
地域文化活動支援事業	市民の自主的な文化芸術活動の支援及び地域文化の発展に寄与するアーティストを発掘・育成する事業 (「文化の花咲かそ補助金」含む)	3 事業
情報発信・活用事業	公式 YouTube チャンネルの運営及び本市及び近隣エリアのアーティストをウェブサイトで情報発信。	2 事業

2. 文化振興事業

市民の教養を高め、文化向上に寄与することを目的に大阪狭山市文化協会に対し、補助金 400,000 円を交付しました。

○国際化施策及び地域間交流関係

1. 都市間交流

姉妹都市提携 50 周年を迎えた姉妹都市アメリカ合衆国オレゴン州オンタリオ市、友好都市和歌山県日高郡日高川町との市民相互の交流を促進するため、大阪狭山市都市間市民交流協会に補助金 2,500,000 円を交付しました。

・主な事業内容

(1) オンタリオ市への学生派遣

令和 7 年 3 月 13 日から 3 月 26 日までの 14 日間、本市から高校生 4 人、大学生 3 人をオンタリオ市に派遣し、交流を深めました。

(2) オンタリオ市からの姉妹都市提携 50 周年公式訪問団の受け入れ

令和 6 年 10 月 12 日から 18 日までの 7 日間、オンタリオ市からの市民 14 人を受け入れ、交流を深めました。

(3) 日高川町との交流

令和 6 年 6 月 3 日の「日高川町寒川ワンダフルナイト」に 36 人が参加し、令和 6 年 11 月 10 日の日高川町フォレスト祭では、大阪狭山市のブースを出展し、友好都市との交流を行いました。

(4) 市民版「こうりゅう」の発行

令和 7 年 1 月に、市民向けの「こうりゅう」を発行し、市広報誌に折り込みで全戸配布しました。

○大阪・関西万博事業

大阪・関西万博（令和 7 年 4 月 13 日～10 月 13 日開催）で大阪府及び府内 43 市町村が連携し、大阪の歴史・文化・産業等の魅力を国内外に発信する「大阪ウィーク」において、レギュラーイベントの実施に向けた企画の検討や準備を進めました。

1. 市民パフォーマンスステージ「Osakasayama Ryujin Stage ～MIRAI～」

大阪・関西万博会場大阪ヘルスケアパビリオン リボーンステージで、市民団体（個人）による、大阪狭山市の魅力を世界に発信する市民パフォーマンスステージの実施に向けた準備を行いました。

(1) 市民公募

令和 6 年 9 月 2 日から 10 月 4 日まで出演する団体（個人）を募集。

（申込：16 団体　うち 3 団体辞退）

(2) オーディションの開催

令和 6 年 11 月 17 日に大阪狭山市立公民館大集会室にて、13 団体のオーディションを実施。

※本番開催概要

日時：令和 7 年 5 月 11 日

場所：大阪・関西万博会場　大阪ヘルスケアパビリオン　リボーンステージ

2. 市民アート展示「狭山池バトンアートパーク」

「過去から未来へといのちをつなぐ狭山池」をテーマとした水彩画作品を市民から募集し、その作品の一部を活用して、大阪狭山市の魅力が詰まった 1 つのアート作品を大阪・関西万博会場で展示するための準備を行いました。

(1) 作品募集

令和 6 年 11 月 1 日から 12 月 20 日まで作品の募集を実施。（応募数：353 作品）

(2) 公募作品展

令和 7 年 2 月 23 日から 27 日まで、大阪狭山市文化会館（SAYAKA ホール）コンベンションホールにて、353 作品を展示。

※本番開催概要

日時：令和 7 年 7 月 26 日～27 日

場所：大阪・関西万博会場　ギャラリーWEST 屋内展示室②